



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 8

2021.10.13 (No.3095)

ロータリーを学び、
ロータリーを広げよう

第2560地区ガバナー／高尾 茂典
会 長／ 歸 山 肇
会長エレクト／西山 徳 芳 (クラブ奉仕A)
副 会 長／若槻八十彦
幹 事／五十嵐博宣
S A A／船越良則
会 計／渡 辺 良 一
直 前 会 長／野崎喜一郎
会長ノミニ／吉 井 直 樹 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
ail: sanjo-rc@cpos
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:58名中43名
■先々週出席率:77.59%

【ヴァンガード】

・米山記念奨学生 李 恒 さん



会長挨拶

歸山 肇 会長



皆様こんにちは。やっとコロナ感染者も減り、気持ちの面でも楽になってきていると思いますが、今後は再拡大を防ぐことに注意しながら、主には基本的対策事項の「人と人との距離」の確保、「マスクの着用」「手洗いなど」の実行は守っていきたいものと考えますし、ロータリーの

の例会もしばらくの間は再発防止を考え、工夫の中で行っていきたくて考えていますので、ご協力お願い致します。

本日のお話ですが、日本人が主食にしている米と稲作も含めて少し話したいと思います。

今の時期、新米を食べている人も多いかと思いますが、私は近年ごはんが大好きになり、今年は特に美味しく感じます。

しかし、農家の方と話しますと、「今年の米の出来はどうか」とか「量はどうか」といった話はあまりなく、むしろ「これからどうするか」「田んぼを委託しているがいつまでやってもらえるか」「そもそも受けてくれる人がいない」などの話が多く聞かれます。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021～2022 年度国際ロータリーのテーマ

今の米価の状況を考えますと、致し方無いと思います。農家の高齢化を含めて考えると、話されている内容も理解できます。

さて、もう一つの稲作の役割として、自然環境を守るという面にも大きな役割を持っていると思います。

この米どころの地域であっても、近年は休耕田が4割以上と聞いていますが、場所の条件の良い田んぼも放置してあるだけで、まだ草刈りなどしてあればよいですが、本当に残念な状況だと思います。

秋には黄金色になった田んぼの情景がいつまでも続くように。そしてこれ以上悪い状況を生まないよう農業を守るため、多少寛容な気持ちで守っていきたいと考えたいと思いますし、まずは皆さんで主食の米を食べましょう。

本日の卓話は米山奨学生の李君です。よろしくお願いいたします。

以上です。

ニコニコBOX

歸山 肇会長

コロナに注意するだけでなく、季節の変わり目の寒暖にも注意したいと思います。

李さん、卓話ありがとうございます。

石倉政雄さん

李君、本日の卓話宜しく願います。

吉井直樹さん

米山月間ですね。あらためて学んでみたいと思います。

本日、李さん宜しく願います。

落合孝夫さん

ワールドカップ予選 オーストラリア戦、燃えました。浅野のジャガーポーズが見たかったです。

中村和彦さん

選挙の看板立てが始まりました。大風が来なければいいのですが？

安達俊明さん

李さんの卓話で再開です。楽しみです。

中條克俊さん

李さん、体調に気をつけて元気にお過ごし下さいネ!!

明田川賢一さん

李さん、卓話ありがとうございます。

本日ジャケット忘れてしまいました。後ろで小さくなってます。

小越憲泰さん、 渡辺良一さん、 小林卓哉さん、
金子俊郎さん、 斎藤真澄さん、 関川 博さん、
西山徳芳さん、 丸山行彦さん、 渡辺勝利さん、
若槻八十彦さん、 五十嵐博宣さん、 石黒良行さん、
小林吾郎さん、 斎藤弘文さん、 中林順一さん、
松永一義さん、 松永隆夫さん、 松平隆行さん、
長谷川正実さん、 早川滝徳さん、 長谷川徹さん、
山田富義さん、 柳取崇之さん、 中村信一さん

米山記念奨学生の李恒さんを心より歓迎いたします。本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

10月13日分 ￥ 34,000

今年度累計 ￥ 302,000

米山月間「卓 話」

「自己紹介と鄭州」

米山記念奨学生 李恒さん



皆様、こんにちは。長岡技術科学大学 博士3年生の李恒と申します。

本日はお招きいただき心より感謝申し上げます。まずは自己紹介をさせていただきます。

1993年12月に中国の河南省鄭州市に生まれました。2012年に地元の鄭州大学に入学して3年間勉強しました。その後、長岡技術科学大学の入学試験に合格して、2015年8月に長岡に来ました。

例会に参加することで、日本への理解を深めて、両国の平和と交流には強い責任感が生じました。これまでに、カウンセラーの石倉さんと三条ロータリークラブの皆様から、日本のことをいろいろ聞きました。

今回は地元の鄭州を紹介したいと思います。鄭州は中国の真ん中に位置し、中華文化の発祥地で有る黄河中下流域にある平原です。

なので、中原と呼ばれます。温暖な気候と平坦な地形のため、たくさんの米が生産されます。

なので、中国の穀倉とも呼ばれます。この地域を取める事がいかに重要か分かります。

三国時代では、魏国の首都一洛陽になります。曹操は中原地域を本拠地として、どんどん領土を広げます。最後には魏国が中国を統一しました。現代では、鄭州は中国の交通の心臓と呼ばれています。鄭州から、中国の各方向ともつながっています。なので、鄭州は非常に重要なところです。

こんな大事なところですが、河南省は慢性的に水不足に悩まされています。1ヶ月に2、3回しか雨が降りません。年間平均600 mmに満たないぐらいの降水量しかないです。

それは、三条市の約3か月分の降水量に相当します。しかし今年、7月19日に大雨が降りました。100年ぶりの水害です、その日は1時間で、河南省の一年間の降水量の三分の一の雨が降りました。街中が水没しました。

ご存知の通り、中国だけではなく、世界中の環境問題は日々悪くなっています。一番重大な原因は二酸化炭素の排出による地球温暖化です。なので、日本に来てからは、環境問題を改善するため、水素に関する研究を始めました。水素は利用時には二酸化炭素を発生しないので、次世代のクリーンなエネルギーとして期待されています。我々は新潟で大量

廃棄された籾殻を使用し、簡単な燃焼処理で、水素を吸着できる材料になりました。未来には、これらの材料を、水素車、飛行機などに応用できるようにする為に、引き続き頑張りたいと思います。

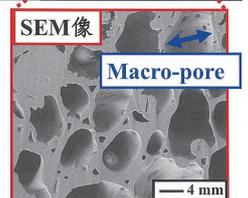
将来は、研究だけではなく、自分の目標と合わせて、人間生活の改善と社会問題解決の仕事を希望したいと思います。

最後になりますが、米山記念奨学金に携わる皆さまに重ねて、お礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。



もみ殻由来の活性炭





米山奨学金の授与



李さんとカウンセラーの石倉さん

次週例会 10月27日

「会員卓話」 小森谷敦史 会員

次々週例会 11月3日

休会 (文化の日)

